

## (2) テラピアの対鹹度試験

### 1. 趣 旨

対鹹度の順応性が強いと言われるがその程度を知り増殖と利用面の開拓を図る点から前年度に引続き実施した。

### 2. 経 過

先づ前回の経過を見るにその結果は下表の通りであつた。

月	日	経過時間	用 水			尾数 死生	備 考	
			水温 ℃	比重	容量 立方寸			
25 Apr	11h 30min							
26 "	6h 30min	21h	252	12231	396	0	5	若魚(全長尾)6.5寸アルマイド テラピアの大きさは5寸程度
" "	" 45min							
30 "	14h 30min	101h 45	243	1309	"	"	5	用水は海水・淡水混合
" "	" "							
1 May	6h "	19h	1975	1744	584	"	"	
" "	" "							
4 "	" 1min	71h 30	230	2075	198	"	"	飼育のため海水濃度を低下し用水は淡水のみとする。
" "	" "							
" "	" 20min	80	212	1298	396	"	"	飼育のため換水するも0尾死
" "	" "							
8 "	" 30min	96h 10	212	2251	396	"	"	同上のため食塩を添加する

### 3. 結 果

前回の最終鹹度2251で95時間余異状を認めなかつたから今回は幾分高めて実施してみた。先づ大・小に分けて実施したが大に於ける結果は下表の通り

月	日	経過時間	用 水			尾数 死生	備 考	
			水温 ℃	比重	容量 立方寸			
17 Sep	8h 15min		272	2303	942	-	10	若魚(全長尾)8.5寸アルマイド テラピアの大きさは5寸程度
" "	16h	7h 4min	274		"	-	0	用水は海水・淡水混合
" "	20h	11h 4min	"		"	-	"	
18 "	5h	32h 4min	"		"	-	"	
" "	11h	37h 4min	270	2536	"	2	8	2尾死除去
" "	15h 30min	41h 34min			"	1	7	1尾 "
" "	20h	46h 4min			"	1	6	1尾 "
19 "	5h	56h 4min	268		"	-	6	
" "	8h	58h 4min	268		"		6	

小に於ける結果は次の通り。

月	日	経過日数	用 水 量			尾 数 死 生	備 考
			水 量	比 重	容 量		
16	Sept	10h56 <sup>PM</sup>	18.5	23.03	立方メ 942	-80	容器(前表と同種 ナラビアの大きさ)寸平均
"	"	11h56 <sup>PM</sup>			"	-80	用水は海水、雨水混合 アラビア約30%以上
"	"	13h40 <sup>PM</sup>			"	179	右眼負傷の不健全魚一尾 斃死除去
"	"	14h			"	-79	一尾横転横臥衰弱し苦痛の 模様
"	"	16h			"	178	前回のもの斃死除去、更に 1尾前同様
"	"	17h			"	1167	11尾斃死除去
"	"	18h	27.6		"	384	1尾 "
"	"	24h			"	-84	
17	"	6h	27.2		"	4123	41尾斃死除去
"	"	8h			"	203	20尾 " 生存5尾記 てあり
"	"	9 <sup>PM</sup> 56	27.2	23.03	"	-3	換 水
"	"	10h38 <sup>PM</sup>			"	12	1尾斃死除去
"	"	11 <sup>PM</sup> 50			"	11	1尾 "
"	"	11h	27.0	23.56	"	-1	
"	"	20h	27.4		"	-1	
18	"	6h	27.4		"	-1	
"	"	16h	24.9		"	-1	
19	"	6h	24.8		"	-1	

#### 4. 考 察

初日に於いては最高濃度2251で正味4日で斃死は見られなかったが今回の2303では大、小何れも時間の経過と共に斃死の増加を示した。先づ大(4寸平均)では収容時の濃度2303から37時間濃度2336となり初めて斃死2尾を計し41時間目、46時間目に夫々1尾の斃死を出し56時間目では60%歩留を示した。小(1寸平均)は計3時間目、4時間目に各1尾で6時間目で11尾と急減し、12時間目から26時間目の6時間内に約70%斃死し、20時間目に殆んど全滅した。但し56時間目の